

目 次

個人研究

アジア法へのアプローチ——北と南の労働法を注視して——	松岡三郎	(1)
比較最高裁判所論——日本と米・独・仏・伊との比較法的研究——	和田英夫	(8)
日本における都城制の諸問題——平安京「鴻臚館」の周辺——	鍋田一	(19)
外国人に対する居住地国の管轄	宮崎繁樹	(28)
公務員の不利益処分と行政救済に関する研究	田中館照橋	(35)
インドの労働法制	市毛景吉	(42)
連邦司法制度の研究—その構造と改革—	松平光央	(46)
アジアにおける独占禁止法に関する比較法研究	木元錦哉	(54)
アジアにおける少年法制の比較研究	菊田幸一	(59)
中華民国憲法の特質	吉田善明	(67)
学校事故の補償救済制度	伊藤進	(74)
個別的労使関係における諸問題——労働災害——	小椋利夫	(84)
妻の財産と夫名義の保険契約—ドイツ法を中心として—	坂口光男	(88)
法発見の類型論的・類推的方法と類推禁止	増田豊	(95)
唐代における死刑覆奏について	岡野誠	(103)
会計学説史に関する研究	松尾憲橋	(109)
発展途上国の経済建設と外国貿易・援助・外国資本	柴田政利	(116)
原価計画とB. E. Cとの関連	坂本清	(123)
戦後民主主義と日本労使関係	栗田健	(132)
組織と情報システムに関する分析的枠組	稲川和男	(141)
米国における多元的な銀行制度の展開	高木仁	(150)
都市化社会と先祖祭祀——現代都市墓地の事例研究——	孝本貢	(156)
経済成長過程における貨幣の役割	渡辺良夫	(168)
スタグフレーションに関する理論的・実証的研究 ——日本の場合——	加藤泰男	(178)
アジア諸国の人口政策	吉田忠雄	(186)
地域経済構造の変動と財政——鹿島臨海工業地帯——	喜多登	(194)

ドイツ社会民主党史研究 ……………	西尾孝明	(204)
——社会主義者鎮圧法施行百周年に寄せて——		
ドイツ近現代史における政軍関係の研究——文献解題のこころみ——	三宅正樹	(211)
ニューイングランド社会経済史研究 ……………	田村光三	(221)
——アメリカ植民地の海港都市——		
日本経済の資金循環の研究(中間報告)……………	石田定夫	(229)
——分析の視点と1960~70年代の資金循環のパターンの変化について——		
フランスの権力エリート ……………	桜井陽二	(239)
経営体質の国際比較 ……………	藤芳誠一	(246)
婦人と年金 ……………	田辺照子	(251)
アフリカの紛争と軍事介入 ……………	播里枝	(260)
アジア諸国における働く婦人の実態とその法制 ……………	入江信子	(265)
——とくに台湾を中心として——		
フランス不動産法の研究(1)——アパルトマン共同所有機構—— ……………	上井長久	(271)
19世紀末イギリス経済構造の変化と新中間層 ……………	吉田恵子	(278)

国内研究

沖縄家族の社会構造——女性の族的位置をめぐる—— ……………	大胡欽一	(287)
転換期における企業行動の変化 ……………	原正彦	(295)